

Presented by 医系専門予備校メディカルラボ

最新！！ 医学部入試情報 実践力養成編



彼を知り己を知れば百戦殆からず

医学部医学科合格のための3ステップ

基礎力

用語理解・定着
解法理解・定着

応用力
思考力
判断力
表現力

実践力
受験校対策
過去問演習

医学部入試は偏差値だけではない！

2022年度入試 国公立大学医学部（前期） 偏差値-合否分布（河合塾全統記述模試偏差値）

大学名	福島県立医科		筑波		群馬		千葉		東京		東京医科歯科		横浜市立	
募集区分	医（一般枠）-前		医-前		医（一般枠）-前		医（一般枠）-前		理三-前		医-前		医（一般枠）-前	
定員	45		44		65		82		97		79		58	
合否	合	否	合	否	合	否	合	否	合	否	合	否	合	否
SS77.5以上					1			1	8	5	1	1		1
SS75.0						1		1	10	1	4	2		
SS72.5			1			1	1	1	8	8	7	2	2	1
SS70.0	1	1	3	3		1	7	1	6	6	6	6	6	1
SS67.5	2	2	5		5		5	8		3	4	2	8	3
SS65.0	8	5	6	7	10	4	5	8		3	4	11	2	12
SS62.5	16	16	5	4	9	6	3	7		5		8	2	4
SS60.0	6	12		3	7	4	1	5			1	4		3
SS57.5	1	21		5	4	6		7		3		1	1	1
SS55.0	1	16		1		8		6		4		4		2
SS52.5		7		4		9		7		3		3		1
SS50.0	1	5		1		8		4		2		1		
SS49.9以下		17		5		20		4		4		4		2
平均偏差値	63.8	57.1	67.3	59.6	64.4	54.4	68.3	60.6	75.2	65.6	70.2	63.1	69	63.9

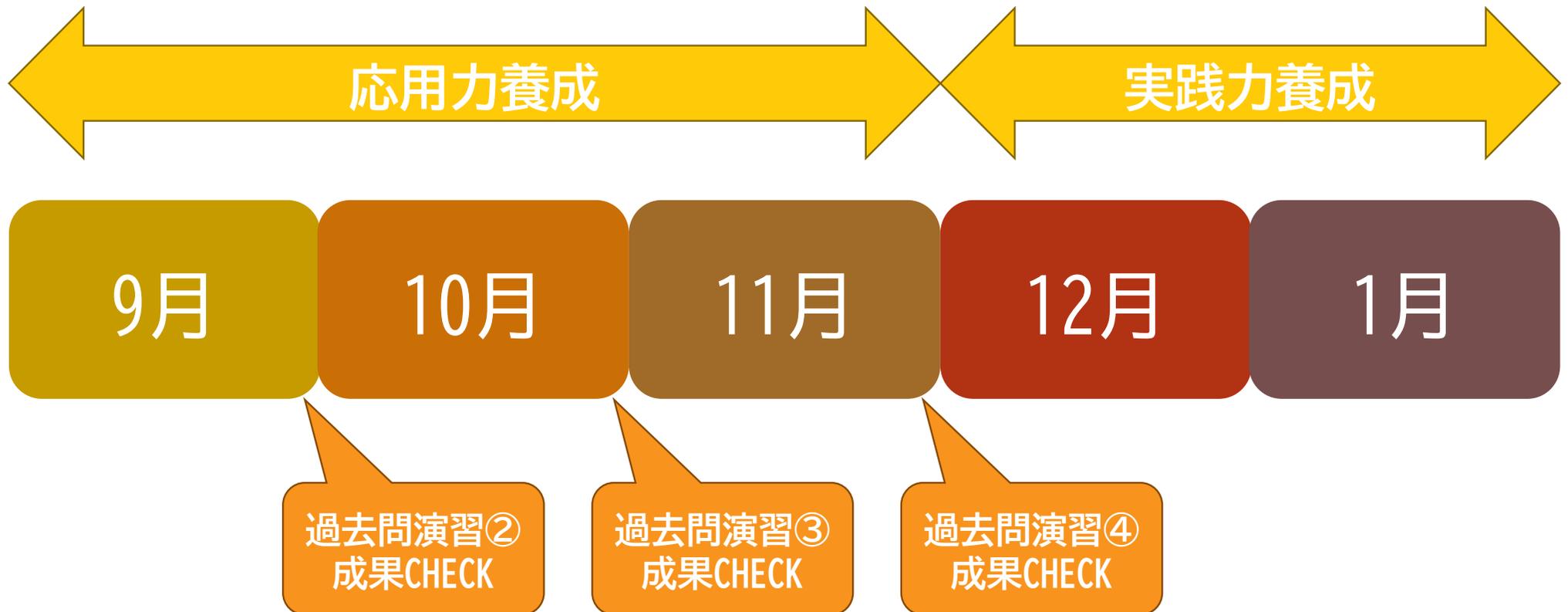
医学部入試は偏差値だけではない！

2022年度入試 私立大学医学部（前期） 偏差値-合否分布（河合塾全統記述模試偏差値）

大学名	金沢医科		愛知医科		藤田医科		大阪医科薬科		関西医科		近畿		兵庫医科	
募集区分	医前期		医		医		医		医		医前A		医A	
定員	65		65		83		92		57		55		85	
合否	合	否	合	否	合	否	合	否	合	否	合	否	合	否
SS77.5以上								5		4				1
SS75.0		3	1	1		3	5	9	3	3	1	3	2	2
SS72.5	1	2	3	3	7	2	12	5	11	8	1	3	1	3
SS70.0		4	5	7	11	6	14	8	12	10	4	6	5	5
SS67.5		8	16	6	27	11	31	20	28	23	9	10	8	7
SS65.0	5	8	30	10	48	21	31	30	28	39	14	17	27	10
SS62.5	10	18	38	44	33	54	18	72	25	68	16	41	43	26
SS60.0	24	49	40	68	16	93	12	58	10	65	12	50	28	42
SS57.5	14	68	16	90	8	92	7	53	4	64	5	46	15	55
SS55.0	15	76	5	95	6	90	2	67	3	78	2	55	4	72
SS52.5	5	68	1	65	1	63	1	39		54		58		55
SS50.0	1	72	1	57	1	59		33		38	1	42	3	49
SS49.9以下	3	229		137	3	116		51		98		104	1	110
平均偏差値	59.5	52.4	63.7	55.1	65	56.1	66.9	59	66.7	57.7	64.4	55.4	63.4	54.8

実践力を身につける時期

受験学年 後半



身につけた学力を本番に100%反映するために

実践力とは？

⇒身につけた基礎学力・応用力を入試本番の限られた試験時間の中で発揮し、ケアレスミスなく得点に反映し、合格点を獲得する力（「得点力」と言い換えても良い）

- ・ 解答スピード
- ・ 解答順序
- ・ 正確性
- ・ 入試科目の総合点でつじつまを合わせて合格点を獲得する

実践力の養成

問題演習の際は、必ず解答時間を設定して解く

- ・ 入試問題であれば、試験時間通りに設定
- ・ 問題集であれば、試験時間相当の分量を設定
- ・ 複数分野からランダムに問題選定
- ・ できれば受験校の出題傾向に合わせた類題を

実践力の養成

試験時間内の獲得点数を最大化する解答順序で

- 得意単元、得意パターンを優先して解答
- 小問集合や単純な知識、計算問題を優先して解答
- 誘導形式の大問は前半を優先。後半は捨てる場合も。
- 時間のかかる問題に紛れた簡単な問題を忘れずに。
- 大学によっては定型の問題配列。必勝パターンを見つけよう。

実践力の養成

捨てる勇気。捨て問を見極める感覚を身につけよう

- ・合格最低点は5割～7割程度の大学が多い
- ・合格する受験生でも3割～5割は落としている
- ・合格者が必ず解く問題で得点する、失点しない
- ・過去問演習を通して、捨ててよい問題の難易度を見極めよう
- ・自分に解けない問題は周りも解けないと思え

実践力の養成

ミスをなくすことが合格の最大の秘訣

- ・ 基礎力養成の段階から、自分のミスのパターンを分析
- ・ ミスしやすいパターンで集中力を高められるように
- ・ 習慣・癖によるミスは時間をかけて克服
- ・ 余った時間で見直しはあまり機能しない
- ・ 解きながらチェック、検算・概算、確認をする習慣を

過去問を活用した本当の受験校対策

過去問演習を通して全範囲の知識・技能を総復習！

- ・ 「過去」問は自分が受験する入試では出題されない
- ・ 過去問演習を通して、受験校の問題傾向・難易度を把握
- ・ 時間配分、解答順序、捨て問の見極めなどの実践力を養成
- ・ 解いた以上の時間をかけて解答解説を確認
- ・ 使い慣れた問題集に戻って知識・技能のメンテナンス
- ・ 周辺知識や別解も積極的に習得

ご視聴ありがとうございました。

ご質問やご相談は最寄りの校舎まで、お気軽にお問い合わせください。



QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、メディカルラボのホームページにつながります。